

事務事業評価表

○基礎情報

課名		議会事務局	作成責任者	常勤職員		常勤職員以外			時間外勤務時間	
施策目標	-	-	村上 穰介	管理職	左記以外	再任用短時間職員	臨時職員	非常勤嘱託職員	総時間	一人あたり月平均
				1 人	10 人	0 人	1 人	1 人	871 時間	7.3 時間

1 評価の見方

- ・ S

事業の指標を概ね(80%)達成し、成果があがった
- ・ A

事業の指標は達成できなかったが、成果はあがった
- ・ B

事業の指標を概ね(80%)達成し、成果は今後見込める
- ・ C

事業の指標は達成できなかったが、成果は今後見込める
- ・ D

事業の指標を概ね達成したが、成果は見込めない
- ・ E

事業の指標を達成できず、成果も見込めない
- ・ Z

未着手事業
- ・ 実績なし

事業実施の体制は整えていたが、実績がなかった

2 事業実績(平成28年度)

No.	事務事業名	事務事業の目的・目指すべき成果	事業の性質	実績			従事者数	会計区分	H28予算 H28決算 (単位:円)	H28実績	評価	H28 業棚 選定
		何を・誰を(対象)、どうやって働きかけ(手段)、どうしたいか(生まれる成果)		業務計画	広域連携	行革重点						
1	議会の調査活動の充実	議員の調査研究に資するため	定例・定型的事業				1.37	一般	16,851,000 14,895,056	政務活動費関連事務、各種調査、資料作成等を適切に実施し、議員の調査研究に資することができた。	S	
2	会議映像配信システム	本会議及び委員会での審議状況を広く市民に広報するため	定例・定型的事業				0.60	一般	2,879,000 2,630,880	本会議の生中継のほか、当日中には録画(速報版)中継を視聴することができるように編集作業等を迅速に行った。また、平成28年第1回定例会からは、常任委員会・特別委員会の映像配信も開始した。また、SNSの活用についても検討し、実施の目途がついた。	S	
3	議会の広報・広聴活動の推進	議会だよりの発行や、議会報告会・意見交換会の開催等により広報広聴活動を充実させ、わかりやすく、開かれた議会の構築を目指す。	定例・定型的事業				0.84	一般	5,217,000 4,714,090	議会だよりの定例会号(4回)を発行したほか、より見やすい紙面とするため、紙面の刷新についての検討を広報広聴委員会で行った。議会報告会及び意見交換会を5、11月に開催し、議会活動の報告及び各テーマについての意見聴取を行うことができた。	S	
4	議会図書室の管理運営	議会図書室の維持管理と、必要図書類の購入	定例・定型的事業				0.18	一般	300,000 298,864	地方自治関係図書や白書類を中心に議員の調査研究に資する図書選定を行い、管理運営も適切に行った。	S	
5	議会の運営	定例会及び各種委員会等の運営及び会議録作成事務を円滑かつ的確に行う。	定例・定型的事業				2.92	一般	4,439,000 3,695,511	定例会及び各種委員会等の会議を円滑に運営したほか、会議録を適切に作成した。	S	
6	議長会関連事務	地方自治の本旨に沿い、都市間交流の発展を図る。	定例・定型的事業				0.48	一般	1,504,000 1,437,200	神奈川県議長会、湘南地方議長会等各種議長会と連携を密にして、多種の情報を入手したほか諸課題の解決に向けた協議ができた。	S	
7	議会制度の検討	議会制度の見直しに係る会議の開催と、それに伴う議会改革に向けての活動をサポートする。	定例・定型的事業				0.91	一般	0 0	電子採決の導入、正副議長選挙における立候補制の導入、質問・質疑のあり方等について、検討結果をまとめ、実施につなげた。 タブレットの活用について、執行部に提言を行った。	S	

8	議員の報酬及び手当等に関する事務	議員への報酬・期末手当を支給するとともに、共済組合負担金の支払いを適正に行う。	定例・定型的事業				0.24	一般	284,439,000 ----- 284,438,560	適正に支出している。	S	
9	議会の交際等に関する事務	正副議長等の各種行事等への適正な対応を行う。	定例・定型的事業				0.57	一般	600,000 ----- 595,518	適切に対応し、支出も適正である。	S	
10	儀式交際等に関する事務	議長・議員の儀式への対応を、適正に行う。	定例・定型的事業				0.33	一般	1,022,000 ----- 834,260	適切に対応し、支出も適正である。	S	
11	議会事務局に関する事務	議員・職員の人事、福利厚生、議員研修会、公印管理、議長賞、備品等の維持管理を適切に行う。	定例・定型的事業				1.45	一般	3,911,000 ----- 2,787,526	適切に対応し、支出も適正である。	S	
12	ホノルル市・郡議会との交流	強固な友好関係を構築するとともに、お互いの抱える共通の課題について調査・研究し、課題解決を図る。	政策的事業				0.79	一般	3,735,000 ----- 1,388,942	友好議会協定を締結し、交流の考え方にに基づき交流の推進を図った。	B	
13	大学等との連携	議会の政策立案能力向上等のため、大学等の知見を活用する仕組みをつくる。	定例・定型的事業				0.20	一般	0 ----- 0	議長による講義、各会派と学生との意見交換、学生による成果発表等を実施した。議員側から政策立案の参考となったとの意見があった。	S	
14	災害応急対策活動	大規模な自然災害が発生した場合、市議会として、迅速かつ的確な対応が図れるよう体制を整える。	定例・定型的事業				0.20	一般	0 ----- 0	市議会における災害対応について抜本的に見直し、災害対応の全体的な指針となるものとして「茅ヶ崎市議会災害対応指針」を定め、それに基づき「茅ヶ崎市議会災害対策支援本部要綱」を策定した。		
15	庁内共通事務	-	定例・定型的事業				0.26	一般	0 ----- 0	-		
16	部内調整事務	-	定例・定型的事業				0.10	一般	0 ----- 0	-		
合計							11.45	予算 決算 繰越	324,897,000 ----- 317,716,407 ----- -			

3 実施計画事業の総括評価

人工・事務事業費・事務事業指標達成度の結果にかかる分析	
<p>議会事務局の平成28年度業務事業は、「災害応急活動」「庁内共通事務」「部内共通事務」を除き13事業である。</p> <p>これらの事業の実施効果を検証すると、「S」が12事業、「B」が1事業となっており、いずれの事業も、概ね順調に事業が実施できたと考えている。</p> <p>一方、近年、全国的に議会改革が求められ、本市議会においても議会基本条例の施行に基づき、さらなる議会の改革や開かれた議会の推進が求められ、市議会を取り巻く環境は、変革期を迎えている。これに伴い、年々、新規の業務が増加傾向にあるが、限られた人工で、確実かつ効率的な業務遂行を心がけ、時間外勤務の縮減に取り組む必要がある。</p> <p>なお、職員の時間外勤務については、働き方の見直しにより勤務時間内で業務を終了させる意識を徹底すると共に、一部の担当に業務が集中しないよう平準化したことにより、総時間で1,574時間の対前年度比64.38%の削減となっている。</p>	

4 平成28年度業務棚卸評価における改善の取組結果

No.	事務事業名	取り組みの結果
2	会議映像配信システム	新システムの導入により、平成28年第3回定例会よりタブレット端末・スマートフォンでも視聴可能となり、これにより、時間や場所の制約なく、本会議及び委員会の模様を市民が知ることができるようになった。 また、編集作業を業者に委託することにより、職員の時間外勤務の削減を図った。
5	議会の運営	本会議や委員会の会議録について、環境面への配慮の視点とインターネットの普及状況を踏まえ、紙媒体の会議録の関係機関等への配布について見直しを行い、約50%の紙資源の削減を図ることができた。

5 新たな行政改革重点推進事業(本項目に記載した場合、別途行革重点推進事業管理表を作成していただきます)

No.	事務事業名	重点事項名	取り組みの概要
1	該当なし	-	-